



県北B & Wショウ開催 名誉賞に川崎一也さん

県北ホルスタインクラブ（八幡勝幸会長）主催の第42回県北ブラック&ホワイトショウは4月19日、くずまき高原牧場体験交流センターで開催されました。

町内から55頭、近隣町村から39頭、計94頭の酪農家自慢の牛が出品され、体型や発育の程度、乳房の成長度など改良の成果を競い合いました。

審査の結果、経産牛の名誉賞は、第11部1位の川崎一也さん（遠矢場）に輝きました。このほか、各部の1位に入賞された当町の出品者は次のとおりです（敬称略）。

- ▷第6部=東館光夫（吉ヶ沢）
- ▷第8部、第10部、第12部=八幡勝幸（星野）

名誉賞と準名誉賞に輝いた皆さん。左から2番目が経産牛・名誉賞の川崎一也さん



来年3月の完成目指し 病院新築工事が本格化

葛巻病院新築工事の安全祈願祭が3月30日、下町地区の建築現場（現病院の隣地）で行われ、町や工事関係者ら約30人が出席。来年3月の完成を目指し、鍬入れや玉串奉奠などの神事で工事の安全を祈願しました。

鈴木重男町長は「自立したまちづくりを目指す本町にとって、病院の果たす役割と重要性は非常に大きい。施工業者が持つ技術の粋を全て結集し、次の時代に誇れる病院建設に特段のご尽力をいただきたい」とあいさつしました。

新病院は来年の夏に開院予定。病床数は60床で、診療科は現病院と同じ5科。町民開放スペースなどを設け、町民に親しまれる病院づくりを目指します。

神事で鍬入れを行い、工事の安全を祈る出席者。左から中崎和久町議会議長、鈴木重男町長、佐々木崇葛巻病院名誉院長

町出身者が一堂に会し 葛巻の将来を語り合う

「ふるさと葛巻の夢を語る会」は4月24日、くずまき高原牧場もく・木ドームで開催され、県内の葛巻出身者や町民ら約70人がワインや乳製品を味わいながら懇談し、町のさらなる発展へ気持ちを新たにしました。

鈴木重男町長が「3期目の構想と葛巻の夢」と題して記念講演。鈴木町長は、基幹産業や定住促進、医療、教育など各分野の町の施策を紹介し、「最重要課題である人口減少に歯止めをかけ、近い将来、人口が増加に転じるまちづくりをしていきたい」と熱く語りました。

参加者は町の将来を語り合い、「葛巻を誇りに思う。さらなる発展を期待します」などと話していました。



「3期目の構想と葛巻の夢」と題した記念講演で熱く語る鈴木町長

大きな夢と希望を抱き 葛巻高校に新入生41人

葛巻高校（梅津久仁宏校長・生徒126人）の第47回入学式は4月7日、同校体育館で行われ、新入生41人（うち町外からは山村留学生3人を含む11人）が入学。夢と希望に満ちた高校生活をスタートさせました。

式では、梅津校長が「目標に向かって努力を惜しまず、多くの経験を積んでほしい」と式辞を述べ、鈴木重男町長が「それぞれの夢がしっかりと実現する高校生活になるよう祈念します」と祝辞を送りました。

また、新入生を代表して山形真未さん（小屋瀬中学校卒）が「葛巻生として自覚と誇りを持ち、仲間たちと切磋琢磨し、進路実現のため日々努力します」と力強く宣誓しました。



新入生を代表して力強く宣誓する山形真未さん

乾燥シーズン要注意！ 山火事防止のパレード

町山火事防止対策協議会は4月13日、山火事防止パレードを実施。町消防団員、葛巻分署員、町森林組合職員など関係者約40人が参加しました。

役場前で行われた出発式で鈴木重男町長は「山火事ゼロの町の実現を目指し、より一層、山火事予防の意識が浸透するパレードにしてほしい」と呼び掛けました。その後、関係者らは消防車両など18台に分乗し、山火事注意の横断幕を掲げ、町内3方向へ分かれてパレードしました。

五日市保育園の幼年消防クラブは、同地区の国道沿いで「山火事にきをつけて」と書いたうちわを手に持ち、走行する車両や通行人に山火事防止を呼び掛けました。



「山火事にきをつけて」と、山火事防止を呼び掛けた五日市保育園児④ 町内をパレードする消防車両



入所式を終え、決意を新たにした研修生。左から三浦頌也さん（30歳・滝沢市）、田村優花さん、山崎さゆりさん（21歳・岩手町）

山地酪農研修センター 決意新たに3人が入所

町山地酪農研修センターの入所式は4月6日、くずまき交流館プラトールで行われました。第37期生となる今年度の研修生は、町内から1人、町外から2人の計3人。3月までの1年間、くずまき高原牧場内での酪農や製造、サービス部門での研修を積みます。

式で鈴木重男町長は「体験に勝る教育はない。1次産業から3次産業まで体験できる当牧場で、それぞれの夢がかなえられる研修にしてほしい」とあいさつ。研修生を代表して田村優花さん（20歳・浦子内）が「実践で学び得た知識や技術を生かし、山村の豊かさと可能性を発信できる人間になりたい」と力強く誓いの言葉を述べました。